

大使館便り

第185号 平成30年8月1日
在ポルトガル日本国大使館

1. 新美大使からのご挨拶

前回の御挨拶は、サッカーワールドカップ、日本対ベルギー戦の直前に書かせて頂きました。御承知の通り日本は残念ながら敗れましたが、非常な好試合でしたね。試合後、多くのポルトガル市民の方々から当館宛てに、日本の戦い振り、或いはゴミの回収に象徴されるサポーターの観戦マナー等について賞賛するメールを頂戴いたしました。お一人、お一人に御礼の返信を出させて頂きましたが、これまた同胞として嬉しいことでした。

最後に、少し時間が経ってしまっていて恐縮ですが、本年の日本祭りも無事盛況裡に終わることができました。御協力頂いた全ての方々に厚く御礼申し上げます。

ではどうぞ良い夏をお過ごし下さい。

2. 政治・経済関係

(1) スペイン首相のポルトガル訪問

7月2日、コスタ首相はポルトガル訪問したサンチェス・スペイン首相と会談しました。両首相は欧州連合の将来について意見交換し、移民問題、ユーロ圏改革、エネルギー分野での連携等に関する共通の立場を確認しました。

(2) コスタ首相のモザンビーク訪問

7月5日～6日、コスタ首相は、モザンビークを訪問しました（サントス・シルヴァ外相、カブリタ内務相、ヴィトリーノ海洋相、ペレストレーロ国防担当副大臣、ジョアキン社会保障担当副大臣ら同行）。コスタ首相は、5日、英雄広場での式典、及びリャンゲーネ基地での献花式に出席した後、ニュシ大統領と首脳会議を行いました。その後、マプト港を視察し、ニュシ大統領主催の夕食会に出席しました。6日、コスタ首相は、モザンビーク国会、国防研究高等機関等を訪問した後、ニュシ大統領のための夕食会を開催しました。記者団に対し、コスタ首相は、ポルトガルの対モザンビーク支援が6,400万ユーロから2億200万ユーロへと増額される旨発表し、「ポルトガルは政治的意志の実現、及び次世代のためにモザンビークとのユニークな関係の構築を継続する義務がある」と述べました。

(3) 気候変動リーダーシップサミットの開催

7月6日、マトス・フェルナンデス環境相は、ポルト市で行われた「気候変動リーダーシップ・ポルト・サミット2018」が、ポルト市、商工会議所、及び民間団体等の主催で今年はじめて開催さ

れ、オバマ前米大統領他著名人が出席し、多くの企業関係者を含む2000人以上が参加しました。同サミットに出席したマツ・フェルナンデス環境相は同サミットでパリ協定の重要性について述べ、ポルトガルが再生可能エネルギー分野で先駆的な役割を果たしている旨述べました。

(4) カストロ・メンデス文化相がマカオ訪問

7月6日～7日、カストロ・メンデス文化相は、「中国・ポルトガル語圏諸国間芸術文化フェスティバル」(主催:マカオ文化局)に参加するためにマカオを訪問しました。カストロ・メンデス文化相は、6日夜に同フェスティバルの開催を記念したコンサートに出席し、7日には「中国・ポルトガル語圏諸国間文化フォーラム」の開会式で演説した後、マカオ美術館で現代アートの展覧会を鑑賞しました。同フェスティバルの開催は今年がはじめてで、中国・ポルトガル語圏諸国の歴史的な関係の強化、及び現代アートの相互理解を深めることを目的としています。

(5) アンゴラ外相がポルトガル訪問

7月9日～12日、アウグスト・アンゴラ外相がポルトガルを訪問し、9日に、レベロ・デ・ソウザ大統領、コスタ首相、サントス・シルヴァ外相とそれぞれ個別に会談しました。コスタ首相は会談後、ツイッターにおいて、「要人往来の再開のなか、我々の二国間関係の有望な時期にアンゴラ外相を迎えた。私のアンゴラ訪問はポルトガルとアンゴラ、我々の国民及び企業を結びつける絆の力強さを取り戻すであろう」と述べました。コスタ首相のアンゴラ訪問は9月17日～18日に予定されています。

(6) コスタ首相のNATO首脳会合出席

7月11日～12日、コスタ首相はブリュッセルで開催されたNATO首脳会合に出席しました。11日午後、同首相はストルテンベルグNATO事務総長に対し、2024年までの防衛関係費支出計画にかかる書簡を手交し、ポルトガル政府は2024年に防衛費を対GDP比1.66%まで引上げることにコミットし、加えて、2021年～2027年の次期EU多年度財政枠組み内のHorizon Europeや欧州防衛基金といった基金を獲得することが出来れば、同目標をGDP比1.98%とすることが出来る等伝達しました。同支出計画には、ポルトガルは、自国企業がエンブレル社とのプロジェクトに参加しているKC-390輸送機5～6機や、新型海洋パトロール船の調達計画が盛り込まれているほか、多目的輸送船の建造計画が盛り込まれており、また民軍両用技術の研究開発に約十億ユーロを支出するとしています。記者団に対し、コスタ首相は、ポルトガルの計画は、「国防能力を引き上げると同時に、国内産業の強化を行うスマートな方法である」と述べました。

(7) ユーロソングージェン社の最新世論調査結果

7月14日、週刊エスプレッソ紙はユーロソングージェン社が実施した世論調査結果を発表しました。与党・社会党(PS)の支持率は42%と、前回調査(5月)と比べて1ポイント上昇しました。他方、最大野党・社会民主党(PSD)の支持率は0.7ポイント下落し、27.3%となりました。

(8) ポルトガル首脳、CPLPサミットに参加

7月17日～18日、カーボヴェルデのサル島でポルトガル語圏諸国共同体（CPLP）の第12回首脳会合が開催され、ポルトガルからはレベロ・デ・ソウザ大統領、コスタ首相及びサントス・アイルヴァ外相が出席しました。前日には閣僚会合が開催されました。

首脳会合では、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の実現に向けた取り組み、CPLP諸国内の人の移動、海洋テーマの重要性等に関する声明が承認され、「サンタマリア宣言」が採択されました。また、サントメ・プリンシペ人のシルヴェイラ現事務総長の後任としてポルトガル人のフランシスコ・リベイロ・テレス大使の次期CPLP事務総長就任(任期は2019年初～2020年末)が決まりました。このほか、アンドラ、アルゼンチン、チリ、仏、イタリア、ルクセンブルグ、英、セルビア、OEI（教育・科学及び文化のためのイベロアメリカ諸国機構）のCPLPオブザーバー加盟承認、及び今次サミットより議長国となったカーボヴェルデ（2018～20年）の次の議長国としてアンゴラ（2020～22年）が選出されました。

(9) エネルギー相互接続に係るポルトガル・仏・EU 首脳会合の開催

7月27日、リスボンで、エネルギー相互接続に係るポルトガル、仏、西及びEU首脳会合が開催され、コスタ首相、ペドロ・サンチェス西首相、エマニュエル・マクロン仏大統領、ミゲル・アリアス・カニューエテ欧州委員（気候行動・エネルギー担当）、及びエマ・ナバロ欧州投資銀行副頭取が出席しました。コスタ首相は、会合後の記者会見でポルトガル・西・仏によって署名された文書（リスボン宣言）は、脱炭素化、パリ協定の目標の実現、及び2050年までのカーボンニュートラルの目標達成のための決定的な貢献を果たすであろうと述べました。

3. 広報・文化関係

(イベント)

●日本映画上映

日本大使館及びオリエン特博物館共催、国際交流基金の協力により、現代日本映画監督による4作品が上映されます（日本語音声、ポルトガル語字幕有り、入場無料）。詳細は、下記URLをご参照下さい。

日時：8月、毎週日曜日（以下プログラムご参照）

会場：オリエン特博物館

住所：Av. Brasília、Doca de Alcântara (Norte)、1350-352、Lisboa

お問い合わせ：info@foriente.pt

URL：http://www.museudoorienteportugal.pt/3295/japao-quatro-cineastas-contemporaneos.htm#_W0YMsZeG9e0

プログラム：

・8月5日（日） 18:00～

「武士の献立」（2013年、朝原雄三監督）

- ・ 8月12日（日） 18:00～
「幼獣マメシバ」（2009年、亀井亨監督）
- ・ 8月19日（日） 18:00～
「誰も守ってくれない」（2009年、君塚良一監督）
- ・ 8月26日（日） 18:00～
「テルマエ・ロマエ」（2012年、武内英樹監督）

●創作音楽劇「海波の音」フィゲイラ・ダ・フォス公演

岐阜県関市の「関音楽劇の会」による創作音楽劇「海波の音」公演が行われます。関市は戦国時代に火縄銃の国産化を初めて成功させた八板金兵衛清定の故郷です。八板金兵衛清定、そしてその娘でポルトガル人に嫁いだ若狭の物語が上演されます。

日時：8月20日（月） 22:00～

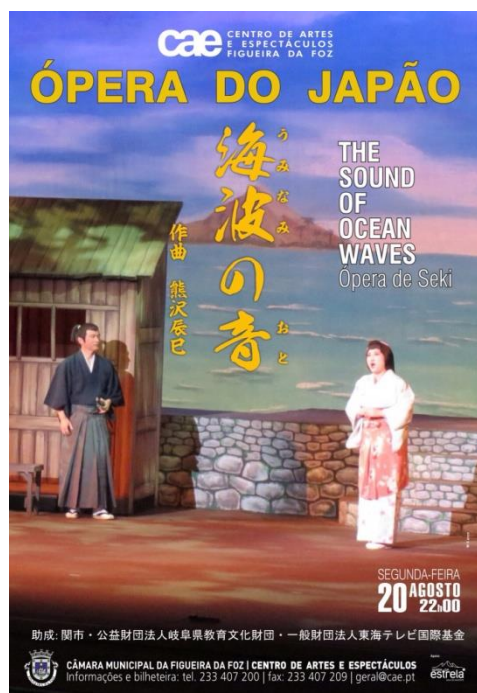
会場：フィゲイラ・ダ・フォス市CAE（Centro de Artes e Espectáculos）

住所：Rua Abade Pedro 2, 3080-084 Figueira da Foz

入場無料（整理券の配布あり）

お問い合わせ：E-mail: geral@cae.pt / Tel.: 233-407-200

URL: <http://cae.pt/>



(お知らせ)

●広報文化班からのお知らせ

今後、当館主（共）催による日本関連イベント開催に当たり、大使館便りに加えてEメールによる招待状やイベント情報の送付を希望される方は、cultural@lb.mofa.go.jpまでご連絡下さい。

4. 領事関係

(1) 夏休み「たびレジ」登録推進キャンペーン実施中！

「たびレジ」は、旅行者が渡航先やメールアドレスを登録することで、大使館・総領事館や外務本省から現地の海外安全情報や、緊急時の連絡を直接受けとれるサービスです。毎年夏には200～300万人が海外渡航すると言われる中、一人でも多くの方に「たびレジ」を活用いただきたい・・・！それで、河野外務大臣は、ゴルゴ13の海外安全対策マニュアル動画版で声優を務め、自身も「たびレジ」を活用して海外安全対策に万全の備えをしているケンコバヤシさんの力を借りることに決めました。

「夏休み『たびレジ』登録推進大使」委嘱の打診を受けたケンコバさんは、「まずは『大使』を名乗るのに相応しい実績を上げたい」と気概を見せます。そこで、河野大臣は、ケンコバさんにまず「書記官」を委嘱し、「たびレジ」をSNSで大きな話題にして「たびレジ」の登録数を増やすことを「夏休みの宿題」として課することにしました。そして、宿題を果たせば、参事官（15万）、公使（30万）、大使（50万）と順に昇進できるようにしました。

みなさん、是非「たびレジ」に登録したり、SNSでリアクションをして、夏休みの旅を安全なものにするとともに、ケンコバさんを応援しよう！

(2) 在留届に関するお願い

近年、海外で生活する日本人が急増し、このため海外で事件や事故等思わぬ災害に巻き込まれるケースが増加しています。万一、在留邦人の皆様がこのような事態に遭われた場合には、日本国大使館や総領事館は「在留届」を基に皆様の所在地や緊急連絡先又は日本国内の連絡先等を確認して援護活動を行っています。

当館でも、皆様に提出いただいた在留届により連絡先の把握を行い、大使館からの海外危険情報や広報文化活動などの情報提供、緊急時の連絡網整備、安否確認に役立てているところです。

このため、[ポルトガル国内での転居](#)、[日本への帰国](#)、[他国への転出等](#)、在留届の届け出事項に変更が生じた後、引き続きこの大使館便りをご覧の方は、速やかにその旨を下記領事班あてにE-mailにてご連絡下さい。

また、皆様の友人・知人で「ポルトガルに居住しているが、まだ在留届を提出していない方」がおられましたら、届出を行うようご案内下さい。

(3) 「たびレジ」登録

在留邦人の皆様が、ポルトガル以外に旅行される場合には「たびレジ」の登録をお願いします。「たびレジ」に登録しますと、現地の大使館からの安全情報をスマートフォン等で受信すること

が出来ます。登録はこちら。<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

(4) 当館領事業務へのご意見募集

当館では、領事サービスの向上を図るため、皆様からのご意見を募集しています。どのような些細な事柄でも結構ですので、ご意見・ご要望等があれば、お気軽に下記領事班あてにE-mailにてご連絡下さい。

在ポルトガル日本国大使館（領事班）

住所：Avenida da Liberdade 245-6 1269-033 Lisboa

TEL：21-311-0560 FAX：21-354-3975 E-mail：consular@lb.mofa.go.jp

(了)